

細河地域 コミュニティ ニュース

第37号

ほそごう地域コミュニティ推進協議会
〈細河地区〉
NPO法人 細河みどりの郷
〒563-0013 大阪府池田市市川原町216-2
TEL/FAX 072-754-5711
E-mail:hcms@iris.eonet.ne.jp
URL http://hosokawa-midorinosato.com

コミュニティ活動の紹介

池田市の学校給食センターでは、細河の畑で採れた野菜を使って、給食の献立を考えています。野菜の栽培・収穫には給食センターの栄養士の方たち、学校園の栄養教諭の方たちも携わって下さっています。

消費地産



ほそかわさつまいも

●さつまいもの苗を植えました。



●ほそごう学園、五月丘小学校3年生が大根の種をまきました。



●大根を収穫しました。



〈細河大根とベーコンのスープ〉

●収穫した大根を使った給食です。



●さつまいもを収穫しました。



●収穫したさつまいもを使った給食です。

〈池田のさつまいもとりんごの甘煮〉

12月9日には、卵入り大根しりしり、1月には、細河大根を使った献立（細河大根サラダ、マーボー大根）が予定されています。

福祉部会が、配食弁当を作っているメンバーと、給食センターを見学し、給食をいただきました。



●センターの説明をうけて、施設の見学をしました。



配食サービスは、地域の方からいただいた野菜や果物などを使って、お弁当のメニューを考えています。



●地域の方からいただいたぶどうに、メッセージを添えて。



●地域の方からいただいた大根やなすびを使って、献立を考えました。



●この日の給食の献立は、ごはん、牛乳、筑前煮、ポテトコロッケ、切干大根の肉みそ炒め、ミニフィッシュでした。

細河で採れた野菜。

朝市も大人気です。





プールで遊ぼう

8月31日（日）、不死王閣のプールで、水遊びを楽しんだり、焼きそば・ジュースなどをおいしくいただきました。



芋掘り体験

11月30日（日）、細河で育てたさつまいもを収穫したあと、みんなで焼き芋をいただきました。



山で、間伐体験をしたあと、コースターを作りました。

子どもの笑顔

地域と学校が連携して、子どもたちに様々な体験を提供しています。



コースターづくり



川で、生き物さがしをしました。

波谷中学校厚生委員会のメンバーが、細河大根についての体験学習を行いました。ほそごう学園3年生、五月丘小学校3年生、池田小学校1年生も同様の体験を行いました。



畑で、大根やさつまいもを育てて収穫しました。



ビオトープの整備をしました。



ブルーベリー園の整備をしました。

育てたさつまいもを農業祭に出品し、葉っぱやまっぼくりの工作コーナーも担当しました。

お知らせ

- ♥ 配食サービスが3月末で終了します。長い間のご利用ありがとうございました。
- ♥ みどりの郷案内所前に掲示板を設置しました。イベント、グループの紹介にご利用下さい。

細河まつり“25” 細河まつり実行委員会主催

7月26日（土）旧細河小学校グラウンドにて

舞台発表、ゲーム、夜店に多くの人が集まりました。



●舞台では、ほそごう学園金管クラブ、和太鼓“疾風”がすてきな演奏をきかせてくれました。



●USJワンディバスや大阪万博入場券、Switch2用ゲームソフト（ドンキーコング、マリオカート）など、今年も、ビンゴゲームには豪華な景品が用意され、会場は大盛り上がりでした。

地域のイベント紹介



●小中学生、高校生以上と二部に分かれて、缶積みゲームが行われました。二人ペアになって、どれだけ高く積めるかに挑戦しました。



●夏のおまつりといえば、やっぱり金魚すくいですね。

バードヒルズまつり 10月19日（日）

バードヒルズまつり実行委員会主催

同じエリアに暮らす1号館、2号館、3号館の親睦をより一層深めようとはじめたまつりも4回目をむかえました。当エリアで育ち、巣立った子どもたちが大きくなって、孫を連れて参加されるようになり、よりにぎわいも増しました。



大ビンゴ大会



●しゃぶしゃぶ用牛肉12,000円相当、お米など豪華景品が用意されました。



●舞台では、バンド演奏、ダンス、よさこい連「わ」による踊りも披露されました。



●よもやまクラブ主催で、フリーマーケットも行われました。



●野菜販売やスイーツ販売、キッチンカーに行列ができました。



●いつもyobou いけだによる「おてがる健康計測会」も開催されました。

子ども縁日 9月20日（土）

児童館主催



●スーパーボールすくい、輪投げ、コイン落とし、プラ板作りに挑戦。景品とおみやげをもらって、大満足の子どもたちでした。

夏まつり 8月23日（土）

細河コミュニティセンターにて

ポップくん主催



●ハイ、チーズ！小さな子どもたちは、さかなつりやもぐらたたき、ボールプールなど、お母さんやお父さんといっしょに楽しいひとときを過ごしました。

第9回 ミニ運動会

10月12日（日）

●旧細河小学校体育館で、恒例のミニ運動会が開催されました。小さい子どもからお年寄りまで大集合。ほそごう学園の先生たちも応援に来てくださいました。



大玉運び



足で勝抜けじゃんけん



壁ドンリレー



デカバン競争



ジャンプでGET!



紅白玉入れ合戦

サンシャインコンサート 40周年記念演奏会

11月2日（日）

旧細河小学校体育館に地域の方がたくさん集まり、ピアノやベルの演奏を聴いたり、みんなでなつかしい歌や校歌をうたいました。



●調律師になった卒業生が、旧細河小学校の体育館のピアノを復活させてくれました。

いつもyobouいけだ 健康計測会

11月29日（土）



●みどりの郷で健康計測（脳健康チェック、血圧・血管年齢、下腿周囲、握力）が行われました。

ふるえるマーケット

6月7日（土）

ふるえる書庫と如来寺本堂・境内に素敵な出品者たちが集まって、フリマイベントが開催されました。



池田三恵園こすもす創立記念 19周年！！ 創立フェスで盛り上げれ

10月1日（水）

●ほそごう学園4年生が、司会に舞台に、屋台のお手伝い到大活躍でした。



ポプラ彩りの郷 大感謝祭 2025 10月25日（土）



●スペシャルコンサートやモンタメのパフォーマンス、キッチンカーもやって来て、恒例の大抽選会も行われました。

池田市最長寿
中尾君子さん
110歳
おめでとう
ございます!!

大阪で一番！「世界に誇れる安全で安心なまち池田」をめざして！！

防犯・防災

細河地域 犯罪・災害発生状況

2025年 1/1～10/31

   	犯罪	●詐欺 5件		    
	●空き巣・侵入盗 1件	●盗撮・不同意性交等 2件	災害	
	●バイク・自転車盗難 5件	●交通事故（人身事故） 28件		
	●窃盗（その他） 1件	●火災 2件		
	●住居侵入 1件	●台風 0件		
	●放火 1件	●地震 0件		
	●占有離脱物横領 1件	●水害 0件		
	●暴行・傷害 2件			



ええトコ

医療法人正五会『いけだ東山クリニック』

地域のための開かれた医療を

当院は東山町をはじめ近隣地域の皆様に幅広く活用頂ける診療所をめざしています。心臓血管疾患や動脈硬化因子（高血圧、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症など）の診療が私の専門であります。『町医者』として私の専門に関係なく、職員一同、一致団結して地域医療に取り組んで参ります。細河地域の皆様、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



院長：岡島年也さん



内科、循環器内科、糖尿病・脂質代謝内科、呼吸器内科、老年内科

緊急での往診、オンライン診療*、訪問診療・訪問看護自由診療、各種検査、予防接種、健康診断

※12時～13時、18時～20時までオンライン診療での対応が可能です。

東山クリニックへ
無料送迎します



- 施設名

●院長

●所在地

●電話
- いけだ東山クリニック
岡島年也
〒563-0012
池田市東山町 546 番
TEL：072-753-6010
ホームページでも受付しています

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	●	●	●	●	●	第4土曜のみ 外来診療 (10:00-15:00)	—
16:00～18:00	●	●	●	●	●	—	—
18:00～20:00	●	—	—	●	—	—	—



細河歴史・文化遺産

現在の細河

戦争中の植木

伝統と歴史をほこる細河の植木も、さすがに戦争中は食糧増産のために、作物（米やイモ）に植えかねなければなりませんでした。

品質保存のために、二反だけでも割り当てられることを願い出しましたが、※本土爆撃が開始されると（一九四五年三月十七日）一切却下、細河の植木もその姿を消してしまいました。
*下村惣七郎部穂集（牡丹芍薬種木保存二付御願）

種類保存に専念いたし居り緊迫せる現下他の植木類と同一視せられるのを恐れて、遺憾至極。

吉田町に住むおばあさんの話より

一九四三（昭和一八）年ごろ、特に戦争がはげしくなったころです。その時、おじいさん（私の父）は戦争につれていかれて、いませんでした。ですから、私とおばあさんの二人で植木の世話をしていました。国の命令で「植木を抜いて、イモを植えなさい。」という知らせが市からありました。このあたりは昔からの植木どころであったので、命令がきたときはほんとにびっくりしました。それで、やむなく命令にしたがって、植木を全部ひいて燃やしました。ひ

きぬくときはやっぱり涙ができました。ほんとにつらかったです。ここらへんの木は、一〇年ぐらいで、一人前になります。五葉松を三〇センチメートルぐらいにするのに、六年はかかります。ついで、まげて一人前になるんですけど、四、六くらいしかものになりません。大事に育てた松を、おじいさんといっしょに育てた松を抜くんですよ、それはほんとにつらいというより悲しかったです。そのあとにイモをつくりました。わずかな土地で野菜や麦などをつくりました。そのつくったものを木部の方へ売りに行きました。それで何とか生活をしていましたが、戦争に敗けて、おじいさんが帰ってきました。そのころは、ええ木になったのを全部抜いたので、おじいさんはほんとにびっくりしていました。ですから、たいへん不自由な生活をしながら、山にかくしてある木をもらって、五葉をついで、少しずつつくっていきました。一からの出発でした。なぜなら自分らで苗から育てた松が一本もないからです。ほんとに一からの出発でした。

植木の再出発

一九四六（昭和二一）年ごろから、一・二年生の（カーネーション・ガーベラ等）草花から再開されました。

一九五〇（昭和二五）年栽培面積

種類	地名	木部	中川原	東山	伏尾	吉田	古江
植木		三・二	二・二	八・四	〇・四	四・二	二・八
草花		〇・八	一・七	四・一	一	一・一	一

細河園芸組合調べ（単位反）

生産者の組織化

一九五〇（昭和二五）年ごろから食糧事情もよくなり、農地の植木への植えかえを手はじめに（五町歩）、翌一九五一（昭和二六）年、九月には、当地の園芸指導者の呼びかけで、組合（園芸組合）も復活し、組合員も二二八名にもおよび、器具の共同購入、優良品種の紹介、病虫害の共同防除などを組織的に行い、復興へと歩みはじめてました。

植木産業の確立

一九七〇（昭和四五）年代に入り、わが国の高度経済成長政策が進行する中で、マイホーム建設ラッシュ、地方自治体の緑化運動がブームとなつて、植木の需要がグーンと伸び、植木農家にも明るい見通しが開け、「産業」として位置づいてきました。

また、一九七〇（昭和四五）年、細河地区も市街化調整区域に指定され、保護されました。

（郷土学習教材「ほそかわ」より）

戦後の細河の植木

年 代	こ と が ら
1951年 （昭和26年1月）	第二次世界大戦のため組合は一時中断されたが、228名で再び、組合が結成される。
1954年 （昭和29年5月）	木部新宅に常設植木市場が開設される。
1963年 （昭和38年1月）	農業共同組合法による専門農協として細河園芸農業協同組合が発足し、現在の細河園芸センターができる。
1970年	市街化調整区域（新都市計画法）に指定される。